

実施計画事業名		民生児童委員活動支援事業		評価対象年度	平成 22 年度			
評価担当部署		生活福祉部社会福祉課		課長(主幹)名	熊谷 悦子			
総合計画体系	分野	2	保健・医療・福祉					
	政策	3	支え合いだれもが安心して暮らせるまちづくり					
	施策	1	地域の助け合いによる福祉を推進します					
	関連施策							
現状と課題	地域住民同士の交流が希薄になっていく現状で、高齢者や障害者・児童など社会的に弱い立場の人々を地域でいかにサポートしていくかという点が課題となっている。このような地域の福祉需要が増大するなか、民生委員の日常的な相談・支援の活動の重要性は大きくなっているため、適正な人員の確保と活動を支える体制の確保が必要である。							
目的	民生委員・児童委員が社会奉仕の精神で、常に住民の立場にたって相談に応じ、必要な援助を行うことにより、高齢者・障害者・児童・子育て家庭・孤独な人等支援を必要とする人々や住民同士のつながりを支え、地域住民の福祉の向上を図る。							
5ヶ年展開の施策	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域住民のニーズに応えるべく確かな援助、指導を行い地域福祉の推進を図るため、民生委員・児童委員の活動を支援する。また、法令に基づく定数の確保等を行う。 ◆ 地区民生児童委員及び民生児童委員連絡協議会への活動費の補助 ◆ 民生児童委員として適正する者の推薦を行う民生委員推薦会の開催 (H22.12、H25.12は一斉改選、ほか任期途中での辞任又は死亡による補充) ◆ 民生児童委員の活動を市民にPRし、地域の中で民生児童委員が取り組むべき役割について理解を深めてもらう。 							
成果指標	名称		単位	21年度	22年度	25年度		
	部会、例会、研修会等活動状況		件	目標	400	400	400	
説明	各地区民生委員・児童委員協議会が、協議会として実施・参加した例会、部会、研修会等の延べ回数の合計(各地区の活動状況報告から)			実績	408	427		
	名称		単位	21年度	22年度	25年度		
活動指標	相談・支援活動状況		件	目標	13,000	13,020	13,100	
	説明 各民生委員・児童委員が行った相談・支援の年間延べ件数(厚生労働省 福祉行政報告例による報告件数)			実績	10,855	12,524		
説明	部会、例会、研修会等への参加人数		人	目標	2,600	2,600	2,600	
	説明 各地区民生委員・児童委員協議会が、協議会として実施・参加した例会、部会、研修会等の延べ参加人数の合計(各地区の活動状況報告から)			実績	2,732	2,991		
説明	民生委員(児童委員)数		人	目標	121	121	121	
	説明 厚生労働大臣が委嘱して本市に配置された民生委員(児童委員)の人数(毎年4月1日現在)			実績	121	121		
説明				目標	-	-	-	
				実績				
事業費の実績		単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	14,484	14,626	14,488		
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	8,282	8,311	8,297		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	0	0	0		
	一般財源		千円	6,202	6,315	6,191		
	この事業にかかる職員数		人/年	0.12	0.17	0.17		
人件費(B)		千円	831	1,154	1,154			
計(A+B)		千円	15,315	15,780	15,642			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
コスト効率	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 民生委員・児童委員の活動は、少子・高齢化の進展により、地域・町内会での人間関係の希薄さから、高齢者や児童の見守りや虐待防止など、求められる活動の幅が広がってきている。こうしたことから、行政側から積極的に情報交換や研修会への参加など連携を強化します。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総合評価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--